

議事（２）東京都障害者差別解消支援地域協議会（第３回）における

条例検討に係る意見概要

1. 会議概要

- 1 日 時：平成 29 年 7 月 18 日（火） 19 時から 21 時まで
- 2 場 所：新宿住友ビル 4 7 階 スカイルーム Room5 及び 6
- 3 議 事：（１）報告事項
障害者差別解消法施行に伴う区市町村の取組状況について 他
（２）障害者への理解促進及び差別解消のための条例制定に係る検討部会
での検討状況について
（３）障害者差別解消法の普及啓発について

2. 議事（２）「障害者への理解促進及び差別解消のための条例制定に係る検討部会での検討状況」に関する主な意見

(1) 「都民及び事業者の理解促進」

論点①「都民等の責務の内容」について

<主な意見>

- ・ 障害者の責務規定を設けることについては、部会では反対意見が多く出ているとの認識があるが、書き方を見ると規定する方向性で結論が出ているように思える。なお、障害者の責務を設けることは改めて反対である。
➔ 結論を出しているものではなく、部会における意見を両論併記している。
- ・ 当事者としても、分かってもらえるように努力することも必要ではないか。

論点②「事業者の責務の内容」について

<主な意見>

- ・ 小規模事業者の実態を踏まえた規定とする必要がある。規模によって、リテラシー（情報を理解し、使いこなす能力）も異なる。
- ・ 都内全事業者の 7 割以上が小規模事業者であり、一人経営も多い。そのような事業者は財力やハード面でも課題を抱えている。事業者の多様性を踏まえ、相互の理解をどう進めていくことができるか、検討する必要がある。
- ・ 小規模事業者の声を聴く必要がある。追加でヒアリングを行う必要があるのではないか。

(2) 情報保障の推進について

論点①「情報保障の推進」について

<主な意見>

- ・ 情報保障の手段は具体的に規定されるのか。また、活字の音声化だけでなく、券売機の音声化等も規定してほしい。
 - ➔ 現時点では未定であり、引き続き（まとめ等の中で本部会において）検討する。
- ・ 条例の条文に細かいことを規定すると、量が膨大になるなどして難しい面があるのではないか。
- ・ 情報を出しただけでは理解できない人もいる。（情報の内容を）丁寧に教えていただくことも考えてほしい。
 - ➔ 論点エに記載している「障害のある人が分かるように説明することが重要」のあたりは、そのようなご意見と関係があるものと考えている。

(3) 相談・紛争解決の仕組みについて

論点①「相談体制」について

<主な意見>

- ・ 知的障害のある人は、自身が差別されている等を認識できないこともあり、相談につながらない。地域における何気ない相談の中で、「（「不当な差別的取扱い」や、「合理的配慮の不提供」に該当するか等について）発見することも大事ではないか。その意味では、区市町村の体制が重要であり、（何気ない相談の中で差別等が疑われる事案はないか、）内容を吸い上げ、（内容に応じて）都と密な引継ぎ等を行う必要があるのではないか。

論点②「紛争解決の仕組み」について

<主な意見>

- ・ 都は区市町村に第三者機関を設置させていくために、条例上も「区市町村は第三者機関を設ける」といった規定を入れるべきではないか。また、区市町村が第三者機関を設けない場合、紛争解決の仕組み上どこに相談をすればよいのか。
 - ➔ 都としても区市町村の実情に応じて設置を促していきたいと考えているが、（都と区市町村は対等・協力の関係にあり、それぞれ独立した地方公共団体となるため、）あくまで設置を促していくということになる。また、都は広域自治体として、都の区域内における事案は原則対象としていくことになる。